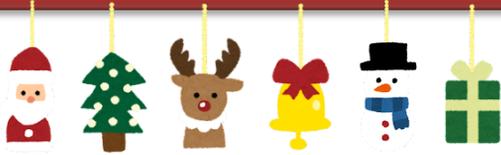




ワクチンの追加接種と新しい変異株



#広がれありがとうの輪
STOP! 感染拡大
— COVID-19 —

新型コロナウイルス感染症流行の第5波は収束し、国内の患者発生状況は減少し、1日あたりの患者数は最大で25,000人を超えていたのが、直近では100名以下となっています。この患者数の減少や、重症者数の減少に大きく寄与したと考えられる新型コロナウイルスワクチンの国内における2回接種完了の接種率は76.7%、現在ワクチンの接種対象である12歳以上での2回接種率は83.7%（いずれも11月29日現在）となっています。被接種者の殆どが、現在最も効果が期待できるmRNAワクチンの接種を受けていて、国民の接種率が75%を超えている国は、日本やイスラエルを除いて殆どないと思われま

12月からは、2回目の接種から原則8か月以上経過した人を対象としたワクチンの追加接種（3回目接種）が始まります。その理由としては、①2回目の接種後経時的に中和抗体価が低下し、6か月以上経過すると大幅な低下がみられること、②3回目接種後には、2回目接種後よりも更に抗体価の上昇し、非追加接種群と比べて発症率、重症化率が低下すること、③3回目接種後の副反応は2回目接種ごと概ね同等かもしくは軽度であると予想されること、等があげられます。

済生会中津病院では、1,200名前後の職員が2021年4月中に2回目のワクチン接種を終えており、今回の12月中での3回目のワクチン追加接種の対象となります。今のところ当院では12月17日から24日までの集団接種を計画しています。もちろん、5月以降に接種された方々のために、2022年の1月以降にも集団接種を計画しています。

さて、ここにきて新たな変異株（B.1.1.529系統；オミクロン株）の発生の情報が日本国内にも入ってきました（表）。このウイルスには受容体と結合するスパイク蛋白をコードするS領域のアミノ酸配列に30箇所の変異があり、その感染力やワクチンの効果に影響を及ぼしている可能性があります。また、変異株と認定されてから短期間のうちに世界中で検出されていて、デルタ株の流行地域でも置き換わって広がりつつあります。まだまだ評価できるほどの情報は少ないですが、WHOが警告しているように、近い将来我が国も含めて世界中に広がっていく可能性は高いと思われま

（感染管理室 安井良則）

表 SARS-CoV-2 B.1.1.529系統（オミクロン株）の概要

PANGO系統名	日本	WHO	EU	UK	スパイクタンパク質受容体結合ドメインの主な変異	検出報告国・地域数
B.1.1.529	VOC	VOC	VOC	International VUI	K417N, N440K, G446S, S477N, T478K, E484A, Q493K, G496S, Q498R, N501Y, Y505H	9 (南アフリカ、ボツワナ、香港、イスラエル、ベルギー、イギリス、イタリア、ドイツ*、チェコ*)

国立感染症研究所HP:

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/10792-cepr-b11529-2.html>より

*メディア情報より

感染管理室からのお知らせ

感染対策研修会

★第1回感染対策研修会

令和3年10月14日開催

(11月1・2・5日DVD講習会開催)

「新型コロナウイルス感染症とその対策について」

★第2回感染対策研修会

令和3年10月25日～10月30日

(インフルエンザワクチン接種時)開催

「感染対策Q&A～全問正解するまで帰れま10！」

上記研修は全職員対象の必須研修となっております。

令和3年度感染対策研修会の未受講者は、インシデント報告システムより動画視聴をお願いします。



新型コロナワクチン追加接種

職員を対象とした新型コロナワクチンの追加接種（3回目）を実施します。

★接種対象者

2回目接種日より8ヶ月以上経過し、かつ接種券がお手元に届いている職員

★実施期間

2021年12月17日（金）～12月24日（金）

*追加スケジュール

1月 20日・21日・28日・29日

3月 10日・11日・18日・19日



今回の3回目接種に関しては、自治体より各個人へ送付されます。接種券が必要となります。接種券が届かない場合は、接種券発行申請が必要な場合がございます。まずは、住民票のある自治体のホームページより接種券の発送状況をご確認ください。